

開業（8月4日）を待つ新諫早駅舎と役目を終える地下道

1945年8月、原爆投下後、多くの被爆者が救援列車で諫早駅に到着しこの地下道に横たわり、この通路を通過して海軍病院などへと運ばれた。すでに奥の部分は閉鎖されている。

【諫早駅地下道】



交渉を申し入れ

ダイヤ改正後の問題点 列車の減便など67項目

国労長崎地区本部

長崎地区本部は12日、「平成30年3月ダイヤ改正等に伴う見直し要求について」と題して交渉の申し入れを行った。誠意ある交渉と書面による回答を求めた。

要求は、項目別に全部で67項目。

「共通」は、沿線自治体やお客様からの減便見直しの意見・要望の対応、委託駅の営業時間や運賃通脱防止に関する問題、快速列車の所要時間の短縮や区間快速の見直し、普通列車の増便や特急みどり号の自由席の普通車扱いに関わる問題、最終列車からの大村線の接続についてなど。

「駅・誘導関係」は、併合作業に関する問題やホロ・ジャンパー柵の改良について、営業時間外の駐車場の割引認証について、諫早駅の新駅移行後のホームの安全対策や社員の待機場所について、大村線の遅延放送に関わる問題など。

「工務関係」は、中間休憩所にお

ける分煙化について。

「運転士・車掌共通」は、前泊や再度乗務の仕業・行路での休養や勤労意欲など労働条件の向上について、早岐駅の乗り継ぎ詰め所の拡大・移転について、南風崎駅のホームの延伸・かさ上げについて、列車の空調

九州本部レクリエーション

7月4日(水)、福岡県宗像市(宗像ユリックス)で、国労九州本部主催のパットゴルフによるレクリエーションが開催された。国労四国エリア本部や国労九州家族を含め、全体で60名弱の参加であった。長崎地区本部からは、役員6名(島田、豊田、神近、上之濱、川崎、宅嶋)が参加した。

競技終了後は、本館へ移動して表彰式と盛大な交流会が行われた。(豊田)



【宗像ユリックス本館での交流会】

設備の改良についてなど。

「運転士関係」は、DC25仕業の長時間の連続労働時間について、ホームでの併合作業の取り扱いについて、5分前後の折り返し列車のエンド交換におけるスイッチ整備などについて、高齢者行路の作成について、運賃表示機の表示に関する問題についてなど。

「車掌関係」は、220D〜3221Dの食事が摂れないための対策について、特急みどり号・ハウステンボス号の非貫通運転時について、乗務カバンの交換について、接続案内表の記載事項について、スマートデバイス導入に伴う携帯品についてなど。(米満)